

つらい経験を次代が良くなるきつかけに



飯館村 菅野典雄村長

飯館村と原発事故

福島県飯館村は、人口約六〇〇〇人の農村です。五年前、東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、全村避難を余儀なくされました。第一原発から約四〇〜五〇kmも離れた飯館村は、津波被害にあつた町村の避難住民を受け入れていた村が、全員避難生活をしなければならぬとは、震災直後には、誰も夢にも思わなかつたことでした。

避難指示を出された飯館村の近くに通学できる方法も探しました。この判断が良かったと、今年七月

飯館村のこれから

「飯館村のこれから」のかどうかは、これから評価されることになりませんが、「早く遠く避難により、住民生活を支えたい」という思いから、住民生活の変化のリスクをいかに小さくしながら、できるだけ早く放射能のリスクから避難するかを考えた。

飯館村の避難指示解除は来年三月を予定しています。今年七月

原発事故から何を学ぶか

一日からは、事前申請すれば村に帰宅し宿泊もできるようになり、三〇〇人ほどが申請し来年に向けた帰宅の準備をしています。

ただし、除染後の汚染物質を話めたフレキシブルコンテナバッグは、まだ村に二〇〇万個も残っており、「そんなものがある間は帰れない」と言う住民がいるのも現状です。

放射能の災害は、両手という意味の東北地方、福島県の方言で、漢字では「真手」と書

原発事故から何を学ぶか

飯館村は、震災前からスローで、つまし生る「まじらい」なものがあつた。「まじらい」と言う住民がいて、原発による現状の「まじらい」とは、両手という意味の東北地方、福島県の方言で、漢字では「真手」と書

f r a g e 研修参加者の声



関西総分会 浦川育子さん

風化させないため活動を継続する

今回の研修を通して、エネルギー政策について学んだのはもちろんですが、災害など、いざというときに、私たちがどう行動するか、どう備えるか、組織での情報の伝達と共有のスピードと意思決定の重要性についても学ぶことができました。

「東日本大震災」を風化させないためには、世代が自分たちで考え、取り組みを継続していく必要がある。この活動を通じて、飯館村の活動がたくさんの人たちに知ってもらい参加いただけるよう取り組んでいきます。



CS中央分会 山越剛さん

私たちの世代が考え行動していく

二日間に及ぶ研修では、「日本のエネルギー政策について」を大先生、国会議員、労働組合それぞれの立場から話を聞き、学ぶことができました。カリキュラムの内容は多岐にわたる、かつ非常に濃いものでした。最後に話を聞いた飯館村については、はじめはこれから私たちが何ができるか、不安な気持ちにもなりましたが、菅野村長からの「一度しかない人生、後悔のないように生きたい。ここからがスタート。飯館村はゼロに向かって歩んでいく」という力強い言葉を聞き、私たちが飯館村のために私たちが活動を考えていきたいと思います。

井上執行委員に聞くドコモ本部の f r a g e 活動



ドコモ本部は、若年層の想像力の発揮が、組織の発展・強化につながるの認識の下、f r a g e (三五歳以下の組合員) 活動を強化をめぐっています。本号では、井上執行委員にその活動のポイントを聞きました。

社会的に価値ある労働運動と組合活動の活性化をめざして

九月二二日に開かれた、「第一回分会 f r a g e 担当者会議」では、各分会 f r a g e 担当者で議論した上で活動の年間統一テーマを「環境」としました。

編集部 具体的な活動の中で f r a g e 活動を積極的に展開することを定め、その実践に向けて f r a g e 担当者会議や f r a g e 担当者研修等を開催しています。

○一六年度の年間活動

井上 まず、年間統一テーマに基づいた取り組みを展開、環境問題と密接に関わっている「エネルギー政策」に着目し、「東日本大震災」の原発事故に伴

う課題等に取り組んでいきます。

具体的な活動内容としては、一月二五日に開かれた、「第二回 f r a g e 会議」で、福島県飯館村での現地支援活動を実施することを意思統一しました。

また、各分会でも年間統一テーマに基づいた清掃活動や学習会など分会独自の f r a g e 活動を展開していきます。

編集部 今後の展開についてはどうでしょうか

井上 分会 f r a g e 担当者が、活動の中心となり、f r a g e 活動はもろろん、ドコモ本部の福島県飯館村での現地支援活動に参加・参加していきます。

f r a g e 世代組合員による活動の実践により、組合活動全体を活性化させていくこと、はもちろんですが、f r a g e 世代が中心となる活動は、社会的に価値のある労働運動を実践していくことをドコモ本部はめざしています。今後も、f r a g e 担当者を中心に、活動の実践に向け取り組んでいきます。

より良い地方政治をめざして



右から4人目が鈴木あやこ区議

地方政治の良い取り組みを表彰するコンテスト「マニフェスト大賞」(11.11)で、鈴木あやこ江東区議会議員(中央分会出身)が所属する2つのグループで特別賞と優秀政策提言賞を受賞した(関連1・2面)。